

1学年の修了にあたって

皆さん、こんにちは。校長の関田です。

3月2日から3週間以上の臨時休業を経て、そのまま春休みに入ることになりました。先週の登校日には、久しぶりに皆さんの顔を見ることができて嬉しかったものの、今日、一堂に会しての修了式を実施することができず、明日からは再び12日間のお別れになります。「当たり前」だと思っていた日常が、こうして学校に通うことさえ難しい状況になると、実は「当たり前」ではなかったのだということに気づかされます。

私たちは普段の生活をつい「当たり前」だと思っていませんか？ 食事が取れるのは当たり前、健康でいられるのも当たり前、友達と仲良くできるのも当たり前、などなど。しかし、現在のような困難な状況に置かれると、実はそういったことが必ずしも「当たり前」とは言えないのだと気づかされます。

「当たり前」の反対語は何だか知っていますか？ それは「有り難い」です。そう、お礼の言葉「ありがとう」の語源です。「有り難い」は、そもそも「存在することが困難だ」という意味であり、言い換えると「滅多にない」ということです。「滅多にない」良いことを他人からして貰ったときに返す言葉が「ありがとう」なのです。

普段は「当たり前」だと思っていたことが、実は「有り難い」ことだったのだと、今回の感染拡大によって改めて気づかされました。食事が取れて「有り難い」、健康でいられて「有り難い」、友達と仲良くできて「有り難い」。

思いがけず長い休みになりましたが、日常生活が実は「有り難い」ことだと分かったら、その日常生活を大切に過ごしたいものです。MOIS1期生である皆さんなら、どう過ごしますか？ 皆さんが、去年の夏休みよりも長い休みをどう過ごしたか、新学期に聞かせて貰いたいと思います。

そのためにも、これ以上の感染拡大は防ぎたい。そのためには、皆さん自身がたくさんの人たちが集まる場所には行かず、自宅で学習に取り組んだり、読書をしたり、できる範囲で体を動かしたりしましょう。そして、こまめにしっかり手を洗い、咳エチケットを守りましょう。自分一人が適当にやっても、感染拡大に影響ないなんて考えてはいけません。皆さん一人一人の行動が、感染拡大に影響を与えるのだと自覚しましょう。そして、教育長メッセージにあったように、誰もが今、世界が直面しているこの危機を乗り越えるために、力を合わせていくメンバーの一人であると考えましょう。

4月7日の午後には新入生も入ってきます。8日には皆さんは「先輩」です。「後輩」たちに、MOISの精神を教えてあげましょう。そのためにも、春休み中しっかり過ごして、己を磨いて力を蓄えましょう。

皆さんとの再会を心から楽しみにしています。

2020年3月25日

校長 関田 晃